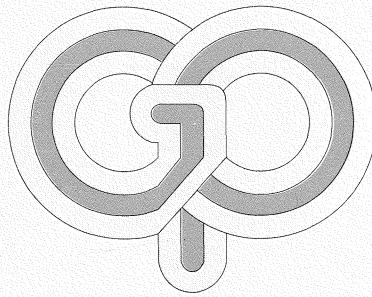


岐阜県の プラスチック



県信用保証協会の情報誌にプラスチック業界の特集記事
工業技術センターに最新のインジェクションが登場
実技の技能検定に1級、2級合わせて69人が受検
組合青年部が相互に成形工場を見学して懇談

豊かなデザイン
組合員の工場訪問
事務局だより

保証協会の取材で開いた座談会



保証協会の情報誌に業界の特集記事

「高付加価値化をめざせ」

大松理事長らが座談会で発言

岐阜県信用保証協会が発行するビジネス情報誌『しんぼーと』に『岐阜県プラスチック業界の現況と展望』が特集記事として紹介された。その内容は「コスト競争から高付加価値化の競争へ向かえば、プラスチック産業の前途は洋々…」をタイトルに、当工業組合の大松利幸理事長ら5人が、座談会形式で岐阜県プラスチック業界の概要、組織、課題、展望などを発言しているもので、産業界の話題になっている。

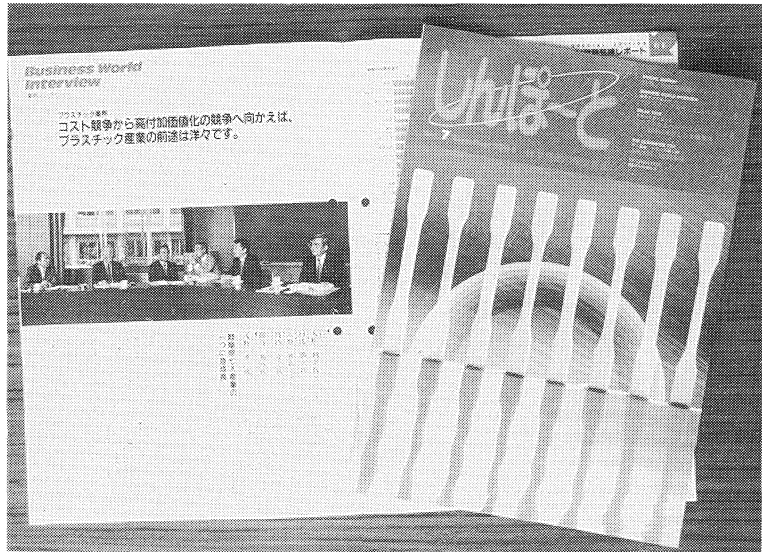
浅野協会常務理事 のインタビューで

県信用保証協会が発行する『しんぼーと』はA4サイズ、カラー印刷の美しい冊子で、年間4回季節ごとに5千部を発行、中小企業金融の円滑化に大きな役割を果たしている。

特集記事の取材は、さる6月7日、岐阜県工業技術センターで行

われた。当工業組合からは大松利幸理事長、日比勝次副理事長、大野實副理事長、竹内安之事務局長それにアドバイザーとして関谷裕彦工業技術センター場長が出席した。これに対し協会側からは浅野準一郎常務理事らが出席、インタビュー形式で座談会が進められた。

インタビューの内容は①プラスチック業界の概要②岐阜県プラスチック工業組合の組織活動状況③プラスチック業界が抱える課題と対応策

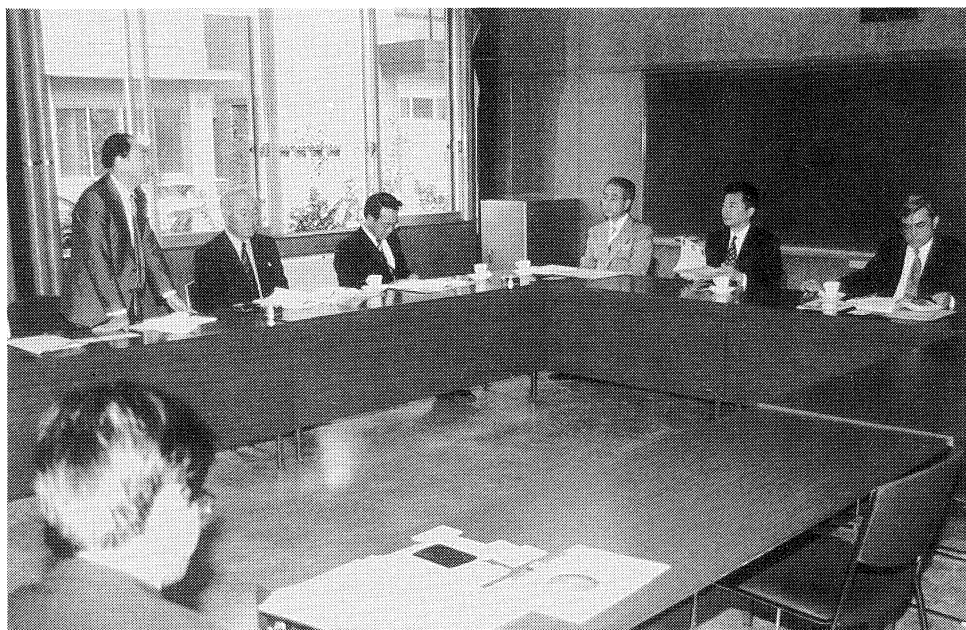


プラスチック業界を特集した県信用保証協会の情報誌『しんぼーと』

④業界の将来展望—などで、今や岐阜県の七大産業の一つとして重要な地位を占めている活躍ぶりを中心に紹介した。

急成長とくに生産性の高さを誇る

業界の概要では、まず、大松理事長が岐阜県の七大産業に数えられるようになった背景と産業の歴史を説明し「岐阜県のプラスチック業界は愛知県のような大資本の成形工場はなく、中小企業による地場産業的に発展してきた。この



プラスチック業界の現況と展望を語る大松理事長ら関係者

ためバラエティーのある業態を築いている」と強調。これに竹内事務局長が具体的な生産出荷額、事業所数、従業員数などを補足説明した。

また、関谷場長が「プラスチック業界の付加価値生産額は、県平均を大きく上回り、地場産業の中でも生産性の高さを誇っている」とアドバイスした。

組織活動では、昭和35年のプラスチック協会設立、経済の高度成長を背景として昭和43年に創立した工業組合、こうした組織を生かし「プラスチック産業展の開催」「技能検定の実施」「金融事業や自動車ローンの実施」「活路開拓事業など国県の補助事業」さらに近年では「健康保険組合の設立」など、相次ぎ取り組んできた各種の事業活動を紹介した。

技術力や開発力を養える工業組合

とくに「県内関連企業数の割には工業組合の組織率が低い」ことが話題になり、これに対し大松理事長は「業界全体が多品種・多分野にわたってきたことや、小規模・零細企業が多いこ

とから事業活動が難しく、組合加入メリットが薄れてきたことは確かだ」しかし、国際化時代に入って「これからは新しい技術力や開発力を身に付けるために組合へ加入してもらえるように、工業組合としての新しい活動を展開していきたい」と方針を述べた。

業界挙げてソフトな技術を高めよ

業界が抱える課題では、発展途上国の追い上げ、円高による生産拠点の海外シフト化、機能性樹脂や複合樹脂など新材料の登場や高精度化など、その一方では地球環境の問題から廃棄物処理にいたるまで幅広くあげられている。

その対応策では「生産施設の海外シフト化は家電や自動車関係でかなり進んでいるが、成形専門企業の海外進出はまだ少ない。将来的には単なる成形部門ではコスト競争の面から発展途上国へ移っていくので、業界としては技術レベルや開発力など、ソフト面を一段と高める必要がある（大松理事長）」「成形加工の業種によっては発展途上国にシェアを奪われることは目に

見えている。製品にオリジナリティーやより高度な付加価値を付けることに、業界挙げて取り組まねばならない（日比副理事長）」「県内業界も機能性材料やプラスチック以外の素材を組合せた複合性材料に取り組んでほしい。これまで材料はメーカーまかせの感があったが、材料を見直し、国際化の波に流されないようにステップアップすることが大切だ（関谷場長）」などと、積極的な発言があった。

省資源・リサイクル対策を真剣に

環境問題では、竹内事務局長から「組合ぐるみでプラスチック廃棄物の処理・再資源化対策の調査と研究に取り組む」の説明があり、リサイクルの重要性を再確認した。しかし、プラスチックが環境汚染の代表格のように思われている風潮に対し「廃棄されるプラスチックの量は全体の6%すぎない。腐らずいつまでも残るの

で悪玉のようにいわれている。結論的には燃やして熱エネルギーとして活用すればよい（日比副理事長）」「燃やすと有毒ガスが出るというが、大気汚染防止装置も開発されており、心配はほとんどないと思う（大野副理事長）」の発言があり、大松理事長が「リサイクルには再生、環境にやさしい材料開発、そして熱としての利用の三つの方法がある。ただし、石油製品は有限なので、省資源・リサイクルについて真剣に取り組みたい」と、このテーマを結んだ。

プラスチック研究センター設立を

最後は業界の将来に話がはずみ、大松理事長が「新技術を確立するバネとして工業技術センターに、プラスチック研究センターを設立してほしい」と発言、大野副理事長が「業界全体のレベルアップを図るため、他県にない施設づくりを進めてもらいたい」と後押しした。

暴追センターからのお知らせ

平成5年度中に、暴力団などの民事介入暴力等の相談が223件ありました。

暴追センターでは、県警察や県弁護士会シンボーセンターと連携しそのほとんどを解決し、大変喜ばれております。

暴力には、勇気を持って警察へ届けあるいは暴追センターに相談することが一番大切です。

暴力で困ったときは、気軽に暴追センターへ相談してください。

———相談は無料・秘密厳守———

(財)岐阜県暴力追放推進センター



岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5階
フリーダイヤル(料金無料)

(0120) 037-214
TEL 0582(64) 1613



新鋭機種がそろっての技能検定

「ハイテク時代」1、2級で69人が参加

工業組合は岐阜県職業能力開発協会からの受託事業として、7月25日から8月23日までの18日間、岐阜県工業技術センターで『平成6年度・プラスチック射出成形技能検定』を実施する。これに先立ち7月20日から3日間、受検者を対象に『特別講習会』を行い、基本からみっちり勉強してもらい、技能や知識のレベルアップを図り、検定に備えた。

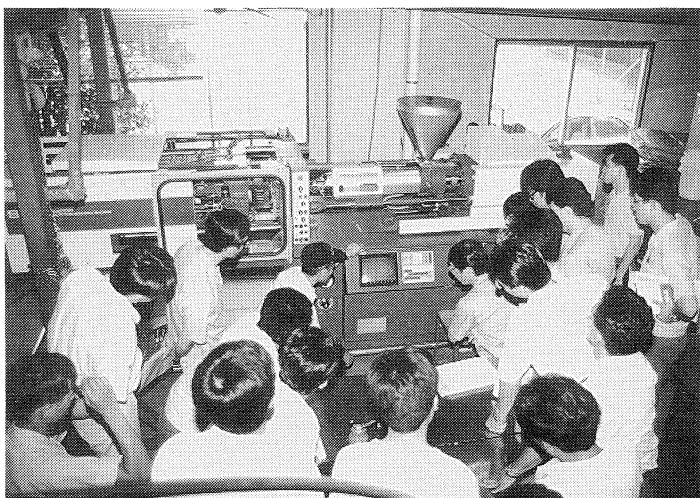
とくに今年度は工業技術センターの射出成形機・住友機種がSG/75に更新され、また、日精機種も圧力のアップなどを行ったため、検定機種はそろって新鋭機種となり、受検者の意欲は高まりをみせた。

検定に先立って 特別講習会開く

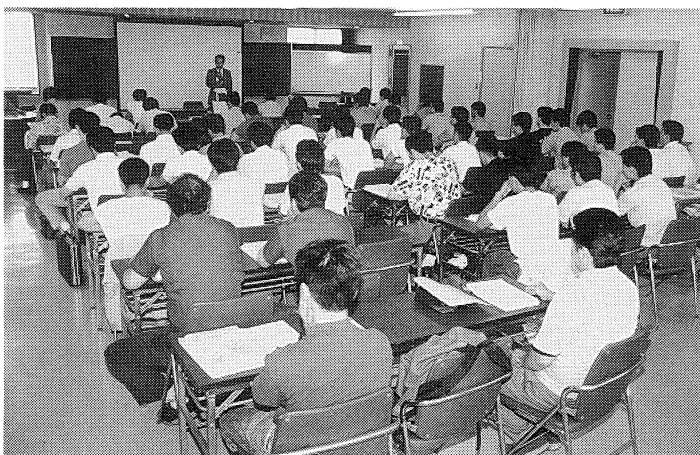
今年度のプラスチック射出成形の受検者は、実技、学科ともで1級11人、2級は66人の合計77人。このうち実技だけの受検者数は1級が10人、2級が59人の合計69人にもものほり、検定事業始まって以来の大量受検。ハイテク時代にふさわしい技能検定となった。

技能検定に先立って開催した特別講習会は、7月20日から3日間、実技検定試験会場と同じ工業技術センターの3階講堂と成形機のある実験室で行った。

研修内容は①技能検定の受検対策と傾向②成形材料と射出成形条件③射出成形機の取り扱い—など講義と実習を繰り返し、合格率向上と技能レベルのアップを



最新型射出成形機の前で、熱心に説明をうける受検者



技能検定事業始まって以来の大量受検。講習会場は大盛況

めざした。とくに講習会場に成形不良品の現物を展示するなど成形不良対策に力を入れ、例年の講習会とは異なる徹底した研修を行った。

知識がないと実技に応用できぬ

特別講習会の開講式では、工業技術センターの関谷裕彦場長が「今日の技術革新時代は、やはり技術の研さんがなければ、企業も業界も発展しない。その技術革新を支えるのは、皆さんの若い技術者である」と激励した。

また、西川隆久首席検定委員は「技能検定受検者が年々増えていることは、県内技術のレベ

ルの高さを表して喜ばしい。しかし、近年は企業の生産形態が分業化してきたことから、技能者の技術レベルに格差が生じてきている。技能検定の合格率が低いのはこれが原因といえるが技能・技術を身につける前に、何よりも大切なのは、やはり基本といえる」と、基礎知識の大切さを強調した。

さらに「実技の検定に当たって大切なことは技能・技術ばかりではなく、作業態度も肝心なこと。動作をその都度宣言、確認し、与えられた検定時間の配分に注意し、あわてず急いでほしい」とも呼び掛けた。

検定時間をフルに活用し取り組む

成形技術だけでなく作業態度も採点の対象に

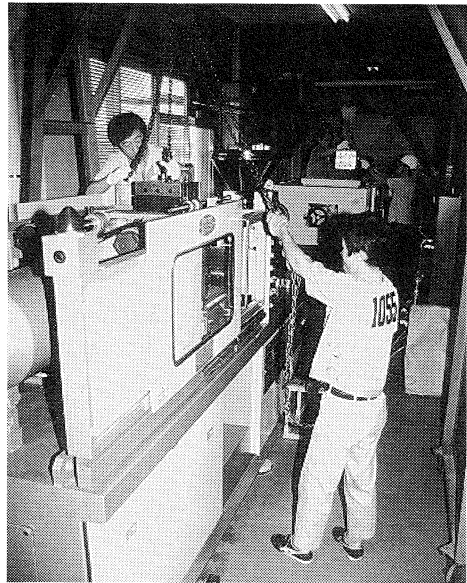
実技の技能検定は大量受検となったことから例年より長期にわたる18日間も行われた。2級の検定は7月25日から8月18日までのウィークデーの15日間、また、1級の実技検定は8月19日から3日間で、いずれも午前、午後に別れて2人ずつが行った。

受検者は公開抽選で決まった日精、住友の最新型インジェクションの前に立ち、2級が3時間、また、1級は4時間の検定時間をフルに活用、検定課題のプラスチックケース2種類（1級は100個、2級は40個）を成形加工した。

実技試験は、たんなる成形作業だけではなく運転前の点検、金型の取り付け、型締め力の調整、リミットスイッチの調整などと、成形作業の事前・事後までも採点の対象になるとあって受検者は緊張の連続であった。

学科試験は8月28日岐阜大学で

実技の試験採点日は8月24日から2日間、工業技術センターに西川首席検定委員はじめ委員、補佐員全員が集まって行く。



合格をめざして取り組む受検者

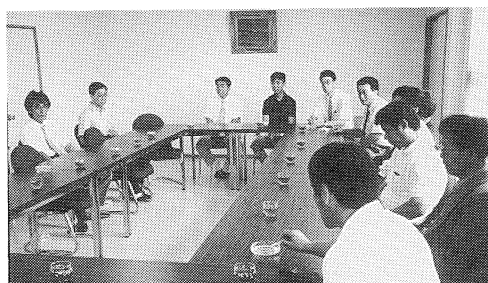
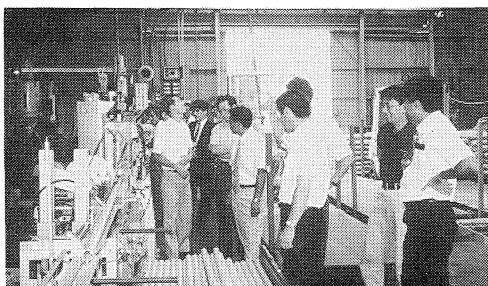
学科の検定試験はすでに合格している人がかなりいるので実技受検者より少なく1級5人、2級44人が受験。試験日は8月28日（日）岐阜大学で、全国统一のもとにペーパーテストが行われる。合格者の発表は10月6日（木）に岐阜県公報に掲載され、岐阜県・岐阜県職業能力開発協会から受検者に通知される。

青年部員の工場を相互に見学

組合青年部・特色ある3工場を訪問し研修

工業組合の青年部は7月22日、今年度の第1回研修会を開いた。テーマは青年部員の企業訪問で、3社の成形工場を見学し、参加者全員で生産工程のあり方や最近の経営実態について討論した。

今回の見学工場は①穂積町にある大東化工(株)のブロー成形工場②真正町にあるパール化



青年部員の工場見学と懇談会

成品(株)の真空成形工場③大垣市にある(有)久世樹脂工材の再生・加工工場—でいずれも特色ある組合員の成形

工場ばかり。青年部員の工場は特色ある成形工場は多く、次回の研修会も続け、部員相互の経営資質の向上に役立てていく。

廃プラ利用の研究開始

青年部が9月に大阪へ実地見学

組合青年部は新事業として『組合青年部研究会事業』に着手する。この事業は中小企業庁指定の補助事業で、中小企業団体中央会、工業組合、組合青年部が共催して行うもので「廃プラスチックの利用と環境を考える」を研究テーマに実地見学会と研究懇談会を組み合わせ、プラスチック成形業界の青年経営者としての考え方をまとめることにしている。

実地見学会は9月4～5日に、大阪府守口市のカンネツを訪問し、廃プラスチックの液化燃料工場を視察し、工場関係者とリサイクル事業について懇談してくる。

アドバイザーは岐阜プラスチック工業(株)の下村康夫取締役開発部長。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6320(大代表) (〒100)

■岐阜のバルコの辺りを歩いていて、妙なことに気付きました。それは、『男の子がいない』ことでした。

■今年の夏のバーゲンでは、また、おもしろい光景が見られました。近年、バーゲンセールといえば、“女性のもの”だったわけですが、今年は違います。その東京の原宿をイメージした中・高校生向けのショップには、茶色にカラーリングしたつんつん頭、体にぴったりとした半袖Tシャツとあみあみランニングの重ね着、ボトムは昔懐かしい裾広がりズボン。肌はつるつるで真っ白です。指にはリング・耳にはピアス・・・こんな若い男の子たちがワンサとセールのワゴンに群がっている様子は、『ああ世紀末だなー。』と妙な感慨に打たれました。

■こんなわけで、後ろから見たら、おとこおんなか判らない状態です。昨今は女の子もショートカットにぴたぴたTシャツなのですから。

先日、前述のような男の子と話をすることがあり、『とても女の子らしい』と感じてしまいました。彼等は『女の子らしい』とか『ユニセックス』という評価は大変うれしいらしいのです。一方女の子の方は、男の子にモてる自分より、女の子にモてるワタシであることが重要になってきているようです。男の子は女の子らしく、女の子は男の子らしく (?!)、と時代は性の境がなくなってきました。



■80年代は、男は男らしく、女は女らしくという価値感でありました。90年代は男と女の垣根がなくなり、いよいよ個人の人間性が重要になってきました。ある著名な服飾デザイナーもコレクションでは『人間性・ヒューマニティ』をテーマにメッセージ性の高い作品を披露しましたが、作品のディテールは賛否両論だったようですが、そのメッセージは、鋭く時代性を象徴するものであったと思います。

■新しい製品開発においてもその動きは読み取れます。少し前の『男性のための』とか『女性向けに』といったようなふれこみの製品はほとんど見かけなくなりました。大切なのは、もっと根っこの部分 人にやさしいかどうか、だれが使っても使いやすいかどうか—になってきました。こういう視点から製品づくりを考えると、男性・女性・若者・お年寄り・子供・障害を持つ人など全ての人にやさしい『バリアフリー』がヒントの視点として浮かび上がってきます。

岐阜県工業技術センター (寿)

小物の下請け一筋、水栓業界に協力

藤木プラスチック

今回の工場訪問は、パルプ生産で名高い美山町にある藤木プラスチック（山県郡美山町葛原3179、資本金30万円、藤木博代表）を訪ねた。工場は美山町の中心、谷合を越え根尾谷へ向う国道418号線沿いの葛原。この葛原には組合員の大西化学や田中プラスチックの工場があるが、藤木さんの工場はもう数^キで樽見という山間の草木地区にある。

一帯の山々はどこまで行っても緑濃い杉山。見るからに特産「美山のスギ板」の主産地だとわかる。

工場は杉山を背にした約百平方^メの規模。典型的な家内工業で「成形工場を始めて今年で31年目。下請け加工に徹し、雪の多い山間の工場を堅実に経営してきた」と話す。

杉板工場からコンプレッションへ

藤木さんは若い頃、一宮市の染色工場へ働きに出たことがある。しかし、5、6年もすると

故郷が恋しくなり、何か事業をと考えた。葛原へ帰り、最初に取り組んだのが製材で、杉板加工。ところが「経営規模が小さく、ラワンなど外材に押され、思わしくなかった」という。

「プラスチック加工を知り、転業を決意したのは、忘れません昭和38年。当時はコンプレッションでした。ムトー精工で成形のやり方を習い、製材機に代えてコンプレッション2台を入れ、車のルームランプなどを成形した」「そうそう、現在、この葛原にはプラスチック工場が8軒もあるが、創業したのは私が一番古い」と、藤木さんは当時を懐かしむ。

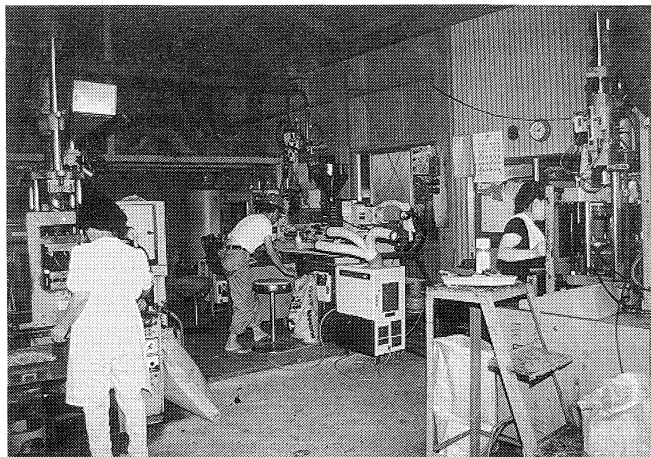
縦、横型を組み合わせ小物を加工

事業が本格化したのは昭和45年の中頃から。時代はインジェクションに入り、30^ト級の縦型機2台を設置、メーター機の歯車など主として小物を成形加工してきたが、この縦型機は今もなお健在で、連日、稼働している。昭和50年代に入ってからコンパクトながら鉄骨の工場とし、50^ト級の横型を2台設置、車やOA部品を加工、

多い時は7社から受注した。

ところが葛原の僻地から、工業部品を納入するには無理が多い。先行きを考え、昭和59年、多喜プラスチックを通じてパルプの部品加工へ全面的に切り替えた。取り組む製品は、インサート部品の水栓フィルターなど小物ばかり。

藤木さんは「小物の下請け一筋受注先はいろいろ変えてきたが、地元の水栓パルプ業界に協力できていると嬉しい」と話を結んだ。



縦型、横型の成型機を設置したコンパクトな工場

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□暑中、お見舞いを申し上げます。□

「地方の景気が、回復に向け離陸し始めてきた。回復の芽は住宅から家電や乗用車など個人消費へと広がって、企業の収益も徐々に改善しつつある。まだ、地域ごとの景況感にばらつきがあるうえ、円高という懸念材料もあるものの地方の景気は着実に明るさを増してきた」…と新聞やテレビに報道されるなど、ようやく景気底入れの声が聞けるようになりました。

組合員各位の経営動向はいかがですか。役員事務局一同から、暑中お見舞い申し上げます。

□9月20日に組合員親睦ゴルフ大会□

かねて計画してきました『第3回理事長杯争奪組合員健康づくり・親睦ゴルフ大会』を9月20日(火)岐阜カントリークラブで開催することになりました。スタートは午前8時30分と早いですが、健康づくりと相互の親睦交流を深めるため、一人でも多くご参加ください。開催内容は近くお送りします。

なお『組合員と賛助会員の交流親睦ゴルフ大会』を計画しておりましたが、急激な円高などによる賛助会員の経営環境悪化などを考慮して

今年度は取り止めることにしました。次の企画にご期待ください。

□学科の模擬テスト結果はまずまず□

工業組合は技能検定受検者を対象に特別講習会を行い、学科試験の模擬テストを実施しました。その結果、平均点は79.3点、最高は100点、最低は50点でした。昨年とは採点方法が違いますが、まずまずの成績で、実技とは異なり全国レベルの合格率が期待できそうです。

出題分野別の回答傾向を見ると、正答率が高いのは①共通②製図③金型④法令⑤安全衛生の順で、かんじんの「成形法」「成形機」はばつとせず、正答率ももっとも低く、無解答・誤解答率が高かったのは例年同様に「材料」に関する問題でした。8月28日の学科試験日まで、あと一カ月、一層の受験勉強を…。

岐阜県のプラスチック 1994 118号

平成6年8月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号

(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 竹内安之

ポリエチレン

スミカセン[®]

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート[®]

ポリプロピレン

住友ノーブレン[®]

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット[®]

メタクリルシート

スミペックス[®]

メタクリル樹脂

スミペックス-B[®]

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプレン[®]

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト[®]



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571

暑中お見舞い申し上げます

平成6年8月

岐阜県プラスチック工業組合

役員一同



リスのプラスチック

リス 岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 利幸

本社 岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
〒500 ☎ <0582> 65-2233(代)
生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504 ☎ <0583> 86-9311(代)



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 俊一

本社及び
本社工場 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話 <0584> 274141番代
郵便番号503-23

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム

LPK 株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中 501-61
TEL <0582> 46-1313番代
FAX <0582> 47-2411番
名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 5451
TEL <052> 521-9296番代
FAX <052> 532-1664番



業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作
大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 日比 勝次

本社 岐阜県大垣市大島町2丁目394番地
TEL <0584> 81-1347(代)
営業所 名古屋市西区城西3-15-33
TEL <052> 932-3945(代)

岐阜産研工業(株)

代表取締役 林 貢一郎

樹脂事業部 射出成型
ギフト事業部 ギフト商品卸販売

本社・工場
〒501-05 岐阜県揖斐郡大野町
大字公郷六ノ坪 1403番地
TEL (0585) 35-2511
FAX (0585) 35-2327

プラスチック材料全般
着色・再生加工
(有)久世樹脂工材

代表取締役社長 久世 幸博

大垣市楽田町3丁目29
☎ (0584) **81-6138**(代)
FAX (0584) **81-2260**

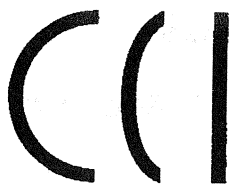


三光合成株式会社

岐阜工場

工場長 三輪 嘉人

本社 富山県西砺波郡福光町遊部800
TEL 0763-52-2135
岐阜県安八郡安八町森部2454-1 〒503-01
TEL 0584-64-3388
FAX 0584-64-4936



技術と工夫で
価値あるものを...

シーシーアイ株式会社

代表取締役社長 岡部修二
岐阜県羽島郡岐南町八剣7-148
電話(0582)47-3101

岐阜プラスチック協同組合

代表理事 清水昭市

岐阜県各務原市前渡東町4丁目222番地
TEL 0583-86-9356
FAX 0583-86-9350

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器



天龍工業株式会社

代表取締役社長 福西紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1番地
TEL <0583>82-4111(代)



ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL<0582>45-5528(代)〒500
東京営業所 東京都中央区湊3-16-8
磯部ビル2F
TEL<03>551-6300〒104

各種プラスチックシート真空成型加工



パール化成株式会社

PEARL CHEMICAL PRODUCTS CO.,LTD.

代表取締役 杉山元彦

本社工場 〒501-04 岐阜県本巣郡真正町温井243-3
TEL(0583)24-9155(代) FAX(0583)24-6221
管理本部 〒500 岐阜市八坂町40番地の1
岐阜工場 TEL(0582)71-0861(代) FAX(0582)75-0970



ムトー精工株式会社

代表取締役 武藤昭三

本社工場 〒509-01 岐阜県各務原市鶴沼川崎町1-60-1
TEL(0583)71-1100(代) FAX(0583)82-4365
岐阜工場 〒509-01 岐阜県各務原市鶴沼川崎町1-93
TEL(0583)83-8311(代) FAX(0583)83-1516
筑波工場 〒300-03 茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里13-2
TEL(0298)89-0800(代) FAX(0298)89-0805

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

岐阜市岩地3-7-15
TEL <0582>46-2541
FAX <0582>46-2081



株式会社 武蔵化成工業所

代表取締役 武藤幸平

岐阜県武蔵郡武芸川町跡部井口781 〒501-26
TEL<0575>46-3711 FAX<0575>46-2285

出光の石油化学製品

ポリスチレン	ポリプロピレン
スチレン系耐熱樹脂	高密度ポリエチレン
ポリカーボネート	直鎖状低密度ポリエチレン
GFPET	カルブ®



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-9361(代)
名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号 日土地名古屋ビル5F 〒460 ☎052-204-6051~3

ShinEtsu 信越PVC

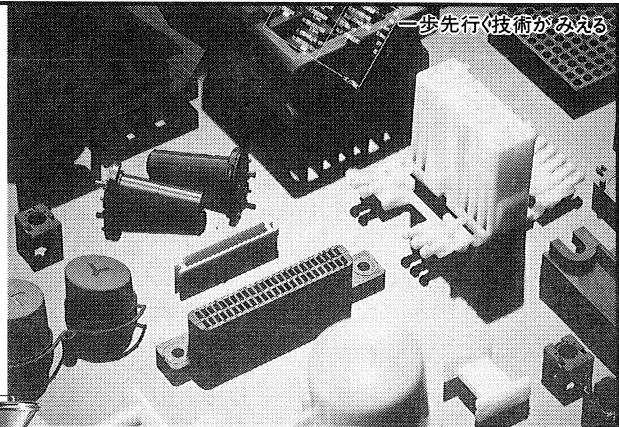
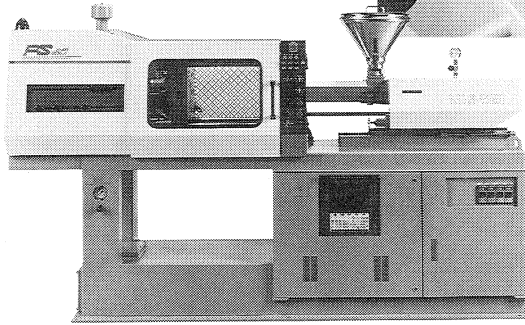
生活用品からエレクトロニクス材料まで——信越PVC

P.V.C.

信越化学工業株式会社 名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅4-27-23(名古屋三井ビル東館)
☎(052)581-0651

精密成形を究めると PSシリーズになる。

最新の電子コントローラを搭載し、射出性能と操作性を向上させ、FA対応においても一層の高性能化を図りました。新感覚の生産工場を実現する価値ある射出成形機、それがNISSEIのPSシリーズです。



一步先行く技術がみえる

NISSEI
P

日精樹脂工業株式会社

名古屋営業所 / 愛知県小牧市外堀2-167 ☎0568-75-9555代

岡崎出張所 / 愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎0564-52-1430

三重出張所 / 三重県津市神戸横田203-4 ☎0592-24-0716

●本社・工場・技術研究所 / 長野県坂城町南条2110 ☎(0268)82-3000(大代表)

●東京事務所 ●テクニカルセンター / 本社・相模原・岩槻・名古屋・大阪

●営業所 / 全国11ヶ所 ●出張所 / 全国20ヶ所 ●海外サービスステーション / 28ヶ所

ハイテクノロジーに挑戦

MEIKI

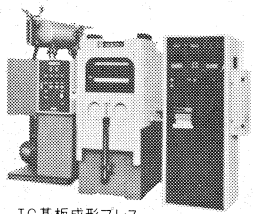
プラスチック、光ディスク、ファインセラミック射出成形機、IC基板成形プレス等、先端技術加工機を生産して、世界の名機として活躍しています。



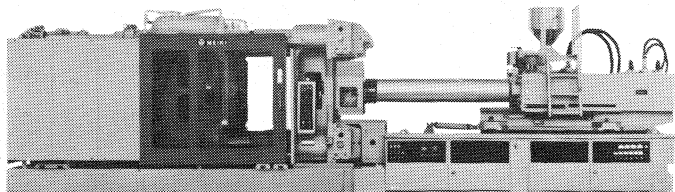
セラミック専用機



ディスク専用機



IC基板成形プレス



プラスチック射出成形機



株式会社

名機製作所

本社・工場

〒474 愛知県大府市北崎町大根2 ☎<0562>48-2111代

時代の進歩に多くを学んでいます。

次は…

- JSR 合成樹脂ワイドセクション**
- | | | | |
|----------------------|--------------------------|-----------------------|------------------|
| JSR ABS | イッパンヨウ
コウキノウ
コウキノウ | JSR AS | コウキノウガタASジュシ |
| JSR AES | タイコウセイジュシ | JSR RB | フタジエンジュシ |
| JSR XT | チヨウタイネツジュシ | JSR TR | ネツカソセイエラストマー |
| JSR NC | ジコシヨウカセイジュシ | JSR SIS | ネツカソセイエラストマー |
| JSR NF | ジコシヨウカセイジュシ | NYLON 46 | |
| JSR MBS | PVCキョウカヨウジュシ | NYLON 6, PET-G | コウキノウポリマーアロイ |
| JSR EXCELLOY | フクゴウガタタイネツジュシ | MAXLOY |] エラストマーケイフクゴウザイ |
| JSR CONDUCTOR | ドウデンセイジュシ | DYNA FLEX | |
| | | LINK FLEX | |

日本合成ゴム株式会社

JSR

東京都中央区築地2-11-24
 ☎(03)5665-6537
 大阪支店 ☎(06) 203-0041
 名古屋支店 ☎(052)571-1231
 広島支店 ☎(082)221-7252



活きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト[®]

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット[®]

ABS樹脂

ダイヤペット[®] **ABS**

三菱レイヨン

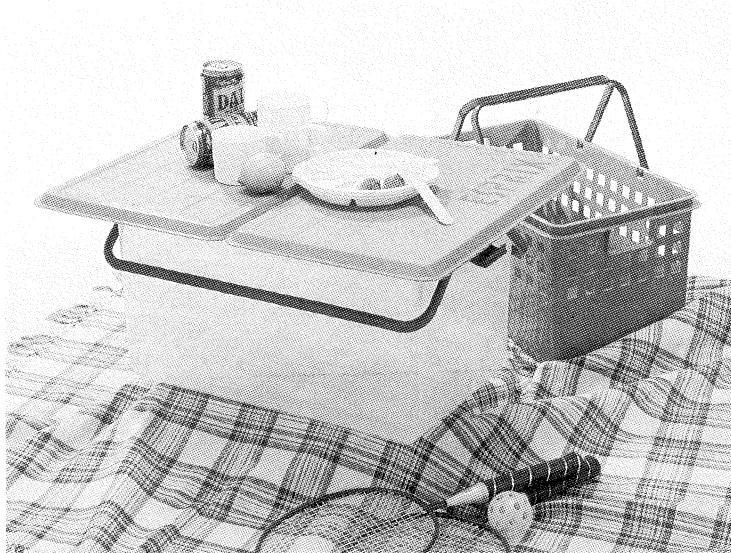
東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

ESPRIX EARTH SPIRIT

エスプリックス

行きはボックスとバスケットにいっぱい詰めて出発。ランチタイムにフタを開けばテーブルに早変わり。帰りは、バスケットをボックスに入れコンパクトに収納できる便利なレジャーボックスです。(フタの内側は、収納スペースになります。)

ボックスがテーブルに早変わり



ダブルボックス

 リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

- 本社：岐阜市神田町9丁目25番地(大岐阜ビル6階)
- 生産本部：各務原市前渡東町4丁目222番地

岐阜プラスチックグループ

- リス興業(株)
- リスバック(株)
- リス(株)
- 東北リス(株)
- 東京リス(株)
- 大阪リス(株)
- 四国リス(株)
- 九州リス(株)
- リスエンジニアリング(株)